

2021.5.23

5/22 第 21 回働学研（博論・本づくり）研究会のご報告

十名 直喜

第 21 回働学研が、2021 年 5 月 22 日 14～17 時にオンライン開催され、下記の 27 名にご参加いただきました。

伊藤、岩田、太田、小野、大日名、片山、金井、聴濤、木林、熊坂、近藤、澤、槌田、程、冨澤、中谷、中野、野口、波多野、濱、平松、藤岡、三輪、安林、横田、吉田、十名。

プログラムは、3つの分科会から構成され、各分会3本ずつの予定でしたが、第2分科会の小林さんが仕事の都合で欠席となり、計8本の発表となりました。

拙宅リフォーム工事たけなわで、騒音を気にしながらの研究会となりました。発表資料を準備される方には、対応が行き届かず、失礼しました。

工事の騒音で（聞き漏らすなど）集中も難しく、司会進行でもご迷惑をおかけしました。騒音がオンラインに響かないよう、工夫しながらの運営となりました。反省も多々あるなか、皆さんのご協力、ご支援のおかげで、今回も刺激的で実り多い研究会となりました。

明治維新で、大砲の音が鳴りやまぬなか、それに気を取られる学生に、福沢諭吉がたしなめたという話を、なぜか思い出します。工事の騒音如きに気を取られる司会（十名）に、福沢の叱正が…。

中谷先生から、下記のメールを早速いただいています。ご提案も検討したいと思います。

「働学研、お疲れ様でした。リフォーム、時々騒音がはいりましたが、全体としてはそんなに気になりませんでした。余りご心配のないように。

毎回ターゲットを決めて準備をして臨んでみると、色々に関連が見えてきて、面白く、興味深く皆さんの報告を聞くことができます。十名さんが皆さんの資料を読み込んで、組立てて構成していただくおかげと感謝しています。新しい方も居られるようです。リアルタイム前後で交流も進んでいるようです。

参加者一覧（名簿？）整理も考えたいかがでしょうか。」（中谷）

初参加の波多野先生からも、研究会の直後に下記のようなメッセージをいただきました。温かい激励に感謝申し上げます。ご提案についても検討を進めたく思います。

「今日は初めてでしたが、皆さんの熱意の高さに驚き、たいへん刺戟をいただきました。

幾つかのご発表は、内容の上でも私の関心に近いものがあったので、参考になりました。中でも、横田さん、平松さん、濱さん、熊坂さんのご発表は、それぞれ個別に十分な時間を割いて意見交換するべき価値があると思いました。短時間では惜しかったということです。

資料についておはかりいただき感謝します。提案ですが、どこかに一括アップしておいて、各自、自分に必要な分をダウンロードするという形はいかがでしょうか。それに、それぞれ、ダウンロードしたものについては、一言コメントをアップするべしと義務づけても良いと思います。誰がダウンロードしたかの記録にもなります。

それにしても、これだけの方々に誠心誠意対応しておられる先生のお姿に、深く感銘しました。」（波多野）

なお、この数ヵ月、20分（発表10分＋議論10分）/本、計180分。発表が10分を超えると、その分だけ議論の時間を少なくするやり方で、やってきました。

今回、報告1本が急ぎよくなったため、第3分科会（3報告）は60分→80分にして、議論に充てました。やはり、これぐらいの時間は、最低確保する必要があると痛感した次第です。

そこで次回からの月例会は、発表を6本に絞り、30分（発表15分＋議論15分）/本、計180分で進めたく考えています。

ご発表の申し込みが増えてこなしきれない場合は、月例会の合間に「検討会」を必要に応じて織り込むことも考えています。例えば、博論検討会、本づくり検討会など。

現職時代は、隔週で博士課程十名ゼミを開催していました。働学研の隔週開催という案も、検討する価値はあるとみられます。発表、参加は、毎回 or 隔週 or 数回に1回など、多様な形での発表・参加が可能になるでしょう。その運営は、少しハードになるため、工夫が必要とみられます。

なお、発表および議論のポイントについてのご紹介は、事情により割愛させていただきます。次回から再開しますので、ご容赦ください。

<第21回 働学研（博論・本づくり）研究会プログラム>

（発表10分・議論10分/本：計180分、司会：十名）

第1分科会 家族・地域・人生

横田幸子「人類進化と家族一序章」

程 遠紅「教育・家族・地域視点から中国ごみ問題の検証 ―博論第5章の洗練化」

平松民平「仕事と研究、わが半世紀の歩み―ICTと資本論」

第2分科会 ICTが促す競争と協同のダイナミズム

小野 満「情報社会における競争の変容」

澤稜介・木林威夫「2025年大阪万博と日本の空飛ぶクルマ戦略」

小林伸孝「分散型企業組合の構造と課題―コロナ禍と「協同労働」法制化をふまえて」

<仕事のご都合で急ぎよ、欠席&キャンセルとなりました>

第3分科会 博論への挑戦と仕上げ —「口頭試問」リハーサル

濱 真理「博士論文の最終試験「口頭試問」リハーサル—「公共政策の合意形成過程」

熊坂敏彦「循環型地場産業論—持続可能な地域・産業づくりに向けて」

片山勝己「企業内学校論と工具調達論—ライフワーク&直近の研究」

なお、次回の6/19第22回働学研（オンライン）は、下記の予定です。皆様のご参加をお待ちしています。

ご参加、ご報告につきましては、十名（tona@iris.eonet.ne.jp）までお知らせください。
お大事に